



学長
荒井 貴史

尾道市立大学は、瀬戸内の十字路として交通の要衝である尾道市に立地して、これまで地域と共に発展して、特長・特色ある教育を実践して参りました。それは、先人達が努力して築いてきた尾道という地域での高等教育機関としての歴史と伝統を基盤としております。本学は、最高学府として社会からの負託に応えつつ、本学の理念である「知と美」の探究と創造によりさらに学問領域を発展させるとともに、その成果を学生教育に展開して次世代に伝達しております。また、公開講座等により地域社会にも還元しております。

本学は、経済情報学部経済情報学科、芸術文化学部日本文学科、芸術文化学部美術学科の2学部3学科と大学院の経済情報研究科、日本文学研究科、美術研究科の3研究科からなる規模としては小さな公立大学ですが、中国・四国地域を中心としながら、全国各地から本学で学びたい(尾道で学びたい)学生が集まっております。そうした意欲ある学生たちは、各教育課程で学修者本位の教育を通して専門分野の所定単位数を修得することで、学問の研鑽を積んでいきます。そして、本学のディプロマ・ポリシー(DP)で示している以下の3つの学修成果を達成して、企業や地域から求められる有為な人材として社会に羽ばたいていきます。

(知識・技能)

DP1: 幅広い教養と専門的知識・技能を修得し、それらを総合的に活用することができる。

(思考力・判断力・表現力)

DP2: 専門的知識・技能を活用した思考を通して、課題の発見や解決、表現の探究に取り組むことができる。

(主体性)

DP3: 豊かな人間性と幅広い視野をもち、主体的に問題解決や社会における実践に取り組むことができる。

優秀な学生を社会に多く送り出すことは、公立大学である本学のミッションであることは言うまでもありません。さらに、尾道の地域で学んだ卒業生・修了生が、それを国際社会や地域での活動で「強み」に出来るように、すなわち「尾道での学びを誇れる大学」となるように努力しております。そして、地域の皆様、関係諸機関の皆様のご協力とご支援を賜りながら、公立大学として本来のミッションを遂行するとともに、「地域と共に育つ大学」でありたいと思います。



副学長
前田 謙二

高校までの勉強ではすでに答えのある問題を如何に早く正解するのが重視され、暗記中心の反復練習でした。しかし、皆さんが大学を卒業して社会に出れば、未解決の問題が山積みです。たとえば、会社に入社したとして新製品の開発を担当したとしましょう。どのような商品を開発すれば売れるのかという問題に正解があるわけではありません。会社は何十年も新製品を開発していても、実際に売れる新製品をなかなか作ることはできません。このように社会では、正解のない課題を何年も考え抜き、いろいろと試してみても、工夫することが求められます。特に、インターネットやAIの進歩などを考慮すれば、単なる知識の暗記では、今後必要とされる人材にはなれないでしょう。

では、学生は大学で何を学ぶ必要があるのでしょうか。高校までのような正解のある問題を早く解く練習ではなく、社会で必要とされる正解のない問題へ対処できる練習を行うことが必要になります。つまり、自分で長く考え続け、人の意見を聞き、何らかの解決策などを見つけ出す練習が必要になります。そのためには、常に「なぜ」と疑問を持つことがスタートになると思います。

本学では学生が演習などで卒業論文や卒業制作等を完成させることとなります。この演習などは教員と学生との距離も近く、特に社会に出て必要な力を養うことができる場になっています。是非、社会で使える力を本学で身につけて下さい。



副学長
桜田 知文

尾道は中世の開港以来、「北前船」の寄港する瀬戸内随一の良港として繁栄しました。また、その繁栄により尾道には多くの豪商が現れ、お寺の建立や茶園と呼ばれる別荘・庭園を競うように整備し、箱庭的都市が生み出されました。明治時代には山陽鉄道が開通し、1999年には、瀬戸内しまなみ海道、2015年には中国横断自動車道が全線開通し、「瀬戸内の十字路」が完成しました。しまなみ海道は、温暖な気候を利用しての柑橘の栽培が盛んで、また世界有数のサイクリングコースでもあります。また、「坂のまち」「文学のまち」「映画のまち」としても知られ、最近ではアニメやゲームの聖地としてや、「猫のまち」としても有名になりました。

尾道はコンパクトな街です。街がとても身近です。昔から続く祭りや、近年始まったイベントも多く、それらに参加する学生も多くなります。またコンパクトな尾道だからこそ出来る事は沢山あります。地元企業とのコラボレーションや商品開発など、尾道には大学での授業で終わらせるのではなく、学んだことを実践する場が沢山用意されています。

尾道にはドキドキワクワクが詰まっています。受動的な大学生活でなく、能動的に大学や街を活用することが肝要だと思います。

<教育：培う尾道市立大学>

尾道市立大学は、専門分野における確かな知識と能力、そして豊かな教養と広い視野をもち、地域社会および国際社会に貢献し得る人材を育成します。このため、本学の特色である少人数教育の利点を生かしつつ、「教学半」(教うるは学ぶの半ば)の精神のもと、教員と学生が人間の触れ合いのなかで共に学び、「知と美」に対する強い好奇心と探究心、しっかりした基礎学力と高い専門能力、そして豊かな人間性を培う教育を実践します。

<研究：拓く尾道市立大学>

尾道市立大学は、実り豊かな教育には不断の研究とそれによって培われた基盤が必要であるとの考え方にもとづいて、新しい「知と美」の地平を切り拓く独創的な研究を目指します。このため、すべての構成員が対等の立場で相互に協調し啓発し合い、異分野間の協働および外部組織との連携を積極的に進めながら、「知と美」の創造へ向けた学術研究を実践します。

<社会貢献：活かす尾道市立大学>

尾道市立大学は、教育と研究を通して培い拓いた「知と美」の成果を絶えず外部に発信することによって、それらが社会に活かされることを目指し、社会からの信頼と期待にこたえていきます。このため、地域社会との連携を図りつつ、世界的視野をもって教育研究に取り組み、有為な人材を社会に送り出すとともに独創的な研究成果を国内外に向けて発信します。また、国際交流や留学生教育などにより、大学の国際化を積極的に推進します。

入学者の受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

教育の理念・目的と求める学生像

尾道市立大学の教育は、専門の学芸と幅広い教養を身につけ、知的能力および豊かな人間性を発揮できる人材を育成すること、また、地域社会との連携・交流を重視し、広く地域に開かれた大学として芸術文化の向上と産業の活性化に貢献できる人材を養成することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けることのできる者として、次のような人の入学を受け入れます。

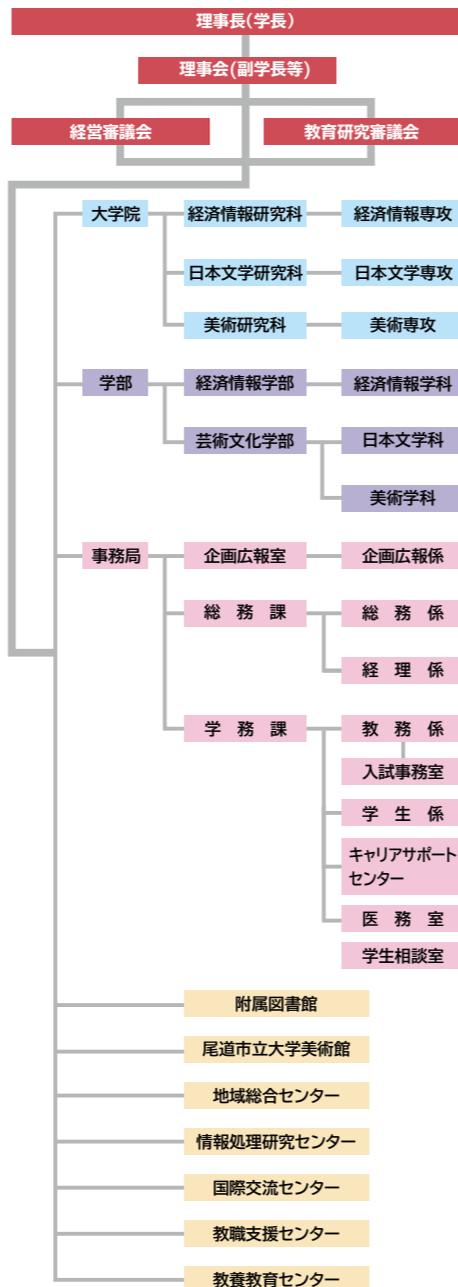
[知識・技能] [思考力・判断力・表現力]

- ・学問や芸術を学ぶことを通じて、豊かな心と幅広い視野を持ちたいと願う人
- ・知と美に対する探究心と創造意欲のある人
- ・専門的知識・技能を身につけ、地域社会や国際社会に貢献したい人

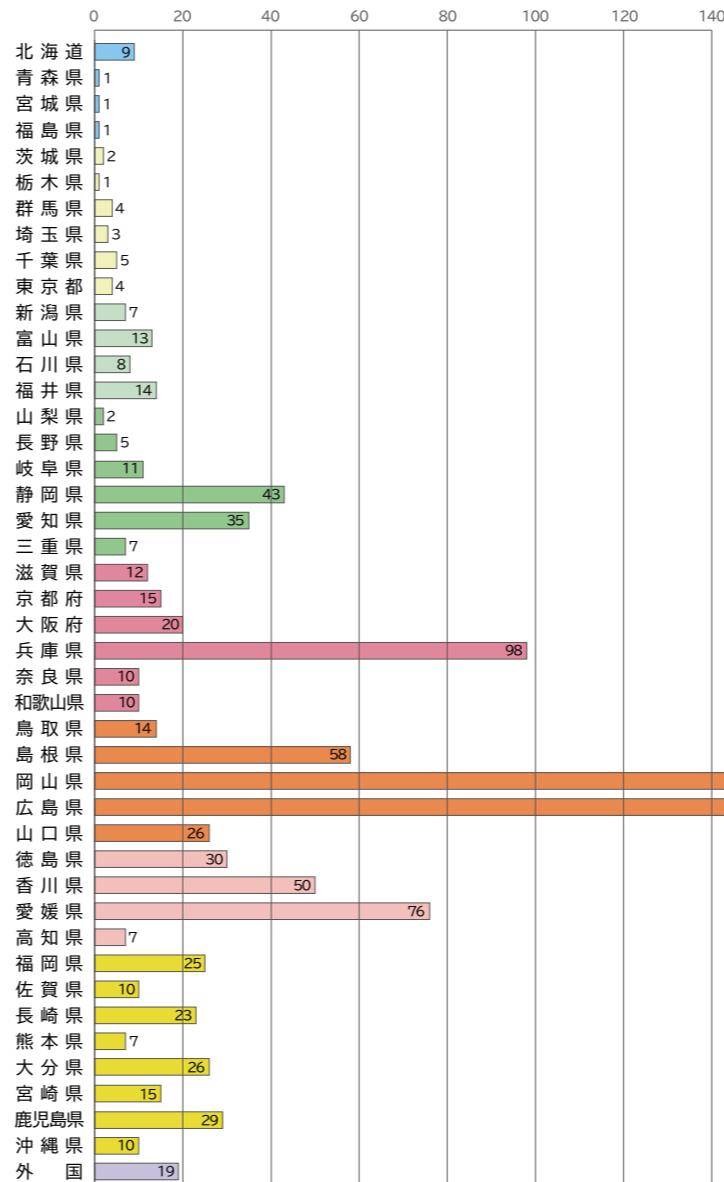
[主体性・多様性・協働性]

- ・何事にも好奇心をもって積極的に挑戦し、自己の目標に向かって不断の努力をする人
- ・主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ人

各学部・学科では、これらに関連する入学前の能力や適性について、それぞれのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーをふまえ、多面的・総合的に評価し、入学者の選抜を行います。



出身地別在籍者数(学部生) 在籍者数 学部生 1,388人



2024年度尾道市立大学入学試験結果

学部					
●学校推薦型選抜					
学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
経済情報学部 経済情報学科	70	137	137	70	
芸術文化学部	日本文学科	15	25	25	16
	美術学科	12	49	49	13
計	97	211	211	99	
●一般選抜 前期日程					
学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
経済情報学部 経済情報学科	100	214	197	157	
芸術文化学部	日本文学科	30	108	103	39
	美術学科	23	60	59	25
計	153	382	359	221	
●一般選抜 後期日程					
学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
経済情報学部	経済情報学科 Aコース	15	286	71	19
	経済情報学科 Bコース	15	207	48	20
	合計	30	493	119	39
芸術文化学部	日本文学科	5	159	54	10
	美術学科	15	102	60	19
計	50	754	233	68	
●私費外国人留学生選抜					
学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
経済情報学部 経済情報学科	若干名	9	2	1	
芸術文化学部	日本文学科	若干名	3	0	0
	美術学科	若干名	1	1	1
●第3年次編入学試験					
学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
経済情報学部 経済情報学科	若干名	2	2	1	
芸術文化学部 美術学科	若干名	3	3	1	
大学院					
研究科・専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
経済情報研究科 経済情報専攻	8	4	4	3	
日本文学研究科 日本文学専攻	6	0	0	0	
美術研究科 美術専攻	12	18	18	13	
計	26	22	22	16	

教養教育科目

教養教育科目は、多彩な講師陣、様々なジャンルの講義により幅広い視野と知識が得られるように構成されています。

地域・キャリア系科目

尾道学入門/地域の伝統文化(囲碁)/キャリア形成入門/キャリア形成演習/インターンシップ

人文科学科目

人生の哲学/生命倫理/論理学/東洋思想/心理学入門/日本の文学/文章表現法(学術的文章)/文章表現法(実用的文章)/美術表現入門/美術の歴史と鑑賞/演劇の歴史と鑑賞/文化財学/思考とデザイン/Topics in Language, Culture, and Society/日本文化史(経済情報)/瀬戸内文化論(経済情報)/民俗学I(美術)/民俗学II(美術)/メディアグラフィックス概論(日本文学)/編集とデザイン(日本文学)

社会科学科目

現代社会と人間行動/法学概論/日本国憲法/世界歴史の流れ/日本歴史の流れ/政治学入門/社会思想史/現代の経済学/社会保障入門/社会学入門/メディア論/文化社会学/民法入門/簿記入門(芸術文化)/ファイナンシャル・プランニング(芸術文化)

自然科学科目

教養数学/物理学入門/地球と宇宙/物質の世界/生物学入門/科学技術の進歩/情報科学入門/建築環境論/数学の基礎と歴史/情報と倫理(芸術文化)/統計学I(芸術文化)/人間工学概論(経済情報・日本文学)/数理・データサイエンス・AI入門

健康スポーツ科目

健康スポーツ学/健康スポーツ実習I/健康スポーツ実習II/野外スポーツ実習

外国語科目

総合英語I/総合英語II/TOEIC I/TOEIC II/応用英語I/応用英語II/上級英語I/上級英語II/ドイツ語I/ドイツ語II/フランス語I/フランス語II/中国語I/中国語II/日本語I/日本語II/海外語学実践I/海外語学実践II

経済情報学部

Table with columns for subject categories (e.g., 専門基礎科目, 共通専門科目, 演習) and specific course titles like 経済学入門I(ミクロ), 簿記入門, 情報とコンピュータ.

日本文学系

Table with columns for subject categories (e.g., 学部共通科目, 日本文学系, 日本語学系) and specific course titles like 芸術文化論, 日本文学概論, 日本語学概論.

芸術文化学部

Table with columns for subject categories (e.g., 学部共通科目, 専門基幹科目, 基礎造形科目) and specific course titles like 芸術文化論, 美学, デッサン基礎実習.

Campus Life



キャンパスライフ

有意義な学生生活のための
さまざまな支援制度を備えています。

奨学金制度

日本学生支援機構および尾道市立大学奨学会等の奨学金制度を設けています。また、民間企業や地方公共団体等による奨学金の案内がありますので、随時お知らせしています。

●日本学生支援機構奨学金

- ・給付奨学金
- ・第一種奨学金(無利子) ・第二種奨学金(有利子)

●尾道市立大学奨学会奨学金

無利子貸与 月額30,000円(若干名)

●尾道市立大学成績優秀学生奨学金

本学における学業成績が特に優秀であると認められた学部生に対して、学修意欲の更なる向上を目的として、年額100,000円を給付する奨学金制度を設けています。

授業料減免制度

経済的理由や風水害等の災害を受けたことなどにより、授業料の納付が困難な学業成績が良好な学生に対する経済的支援として、授業料減免制度があります。

チューター制度

指導教員(チューター)を中心に経済情報学科では10人程度、日本文学科・美術学科では5人程度のグループをつくり、同級生や先輩・後輩との絆を深めていく制度です。チューターはグループの学生の相談相手になり、またグループの学生と一緒にレクリエーションを楽しむこともあります。

資格取得支援講座及び資格取得者に対する奨励金給付制度

公務員受験対策講座、情報技術資格対策講座等の課外講座を開講し、学生の進路支援、就職活動に向けた実力を養成しています。また、独力で資格等を取った学生に対し、奨励金を給付する制度もあります。

オフィスアワー

学業その他の相談を受けるため、全教員がそれぞれ日時を決めて、研究室で待機しています。

学生相談(カウンセリング)・健康相談

自宅から離れた新しい暮らしや通学環境の変化など日常生活上の悩み、大学での人間関係の悩み、精神面や身体面での心配事について、医務室職員やカウンセラーに相談できます。また、公認心理師/臨床心理士によるカウンセリングを受けることができます。

下宿等について

尾道市内には学生向けのワンルームマンション、アパートや寮があります。また、本学の周辺には食事付きの学生寮もあります。これらはすべて民間経営です。希望者には、アパート等の資料をお渡ししています。

その他

学生または学生で構成する団体が、スポーツ・文化・社会貢献等の各分野の活動において、特にすぐれた成果を挙げた場合、学長からの表彰があります。

経済情報学科2年

松本 帆華

岡山県立笠岡商業高等学校 出身

私は将来、商業高校の教員になりたいため、本学の経済情報学部を志望しました。本学では経済・経営・情報を幅広く学べ、希望して履修条件などを満たせば高等学校教諭一種免許状2種類(商業・情報)と一緒に取得できます。

入学後に勉強した内容を具体的に書くと、例えば簿記入門では高校から勉強していた日商3級レベルの範囲について学修しました。あるいは情報活用基礎IIでは、ウェブサイト作成の実践について学修しました。このような大人として社会で生きていくために大切な知識を、入学前にざっくりと想像していた通りに、大学で実際にやれているのはいいことだと思います。

本学は「少人数教育」の特色が強く、私も2年次から特別演習を履修しています。この講義では、人工知能を動かしたり経済波及効果の算出をしたりというような、一般的な講義よりも高い専門性を備えた内容に取り組みます。教員との距離も近く、意見を交わしやすい環境なので、理解を深めながら研究を楽しみたいです。

講義のない休み期間は、アルバイトと日商簿記2級の勉強を頑張っています。勉強以外では、私はバドミントン部に所属しているため、好成績を残せるように部活動も頑張っています。



私たちが普段付けているお小遣帳は、いわゆる単式簿記と呼ばれるものですが、企業の帳簿などについては複式簿記と呼ばれるもので記載されます。また、複数企業の帳簿を比較してどちらが効率的な経営をしているか分析を行う財務諸表分析等も勉強します。

高校生の受講生を想定した模擬授業を行いました。この中では、PPTを作成して講義を進行したり、ウェブ上のプラットフォームを経由した聴講生の意見集約を行ったりと、ICTを最大限活用した実践的な学修をしました。

一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1限		プログラミングI	情報とコンピュータ	簿記入門	教育の方法と技術・教育におけるICT活用
2限	会計学概論		日本国憲法	ファイナンシャル・プランニング	基礎数学I
3限	教師論	プログラミングI 実習	総合英語II		
4限	キャリア形成入門	情報活用基礎II			健康スポーツ実習I
5限			経済学入門II (マクロ)		

● 講義がない時間帯や土日には、市内の飲食店に遊びに行くこともあります。尾道は観光地でもあり、おしゃれなスポットもたくさんあります。ネコが身近にいたり、海が近かったり、レトロで落ち着いた環境があって、とてもリフレッシュできます。私はバイクで遠出をすることもあります。バイパス道路などへのアクセスが充実しているため、東西南北への移動にもとてもいい場所です。

※1年次(2023年度)後期の時間割です。

日本文学科4年

北村 凜

徳島県立川島高等学校 出身

私は民俗学ゼミに所属し、日々研究に励んでいます。高校生のころから民俗学に興味があった私は、「本学へ入学したら民俗学を研究したい」という強い意志がありました。ゼミでは、地元徳島県の「祖谷溪の平家落人伝説」を研究テーマとしています。土地に伝承される貴重な情報を聞いたり、写真撮影などのフィールドワークも取り入れたりしながら積極的に調査を行うことで研究も深まり、充実した大学生活を送っています。

コロナ禍という期間を乗り越えて対面での授業や活動が増えたので、様々な人と交流できるようになり多くの友人ができました。一緒に楽しく活動し、共に研究に打ち込めることを、今はとても嬉しく思っています。大学では活動の幅も広がり、何かにチャレンジできる機会が増えたため、新しい自分に会える場所だと改めて感じています。引き続き、挑戦する姿勢、積極的に活動する姿勢は忘れずに日々を過ごしていきたいです。



尾道について、歴史や文化など様々な視点から学べる授業です。学年・学科問わず受講することができ、尾道という街の魅力や特色を知ることができます。

一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1限			博物館展示論	尾道学入門	
2限	文章表現法入門	中国語I		生物科学入門	博物館情報・メディア論
3限	編集とデザイン	日本文学講読III			伝承文学専門演習a
4限	日本語史				
5限			日本文学史II		

● 授業のある平日は、空きコマに課題や自習をして過ごしています。また、3年生になってから大学の図書館でアルバイトを始めました。シフトが入っている場合は、授業後に図書館に向かっていきます。休日は公務員講座に出席したり、買い物に出かけたりしています。時間や予定が空いているときは、気分転換によく商店街で散歩をします。

授業内での発表を通し、さらに伝承文学の知識を深める演習授業です。この授業で学んだ資料の作成方法、発表の進め方等がゼミでの研究発表にも活かしていると感じています。

※2年次(2022年度)前期の時間割です。

美術学科4年

和泉 優子

浜松学芸高等学校 出身

私は日本画を学ぶ場として尾道の美しくのどかな環境に魅力を感じ、本学への入学を決めました。アトリエではのびのびと作品制作に取り組むことのできる環境が整っています。実習では個性豊かな学友たちに日々新鮮な刺激をもらっており、制作に難航している際には先生方から助言を頂くこともあります。自然に囲まれ落ち着いた環境下で自身の作品と向き合い、見つめ直しながら作業ができることには非常に満足しています。

専門科目では、本学や外部から来られた講師の方々から、様々な素材や技法について学ぶことができるため、専攻する科目以外の知識や画材・素材の幅を広げることができます。また実習時とは違い、学年・専攻問わず様々な学生が集まり作品制作を行うため、新たな発見や気づきを得ることができます。

尾道には美術館やギャラリーが多くあります。私自身も休日や空きコマには展覧会に足を運んだり、友人たちとのグループ展の機会を設けたりと、貴重な経験をすることができました。こういった芸術に関する展示やイベントを目にする機会が多いのは、尾道が芸術との関りが深い町だからだと感じています。そのような町や大学、そして人に囲まれた環境下で学生生活を過ごすことができ、嬉しく思います。

演習系の授業では、作業環境が整った工房での作品制作を中心に、外部講師を招いての実習も行われます。

● 実習だけでは不足する制作の時間を、空きコマや自由時間で補っています。

一週間のスケジュール

時間割	月	火	水	木	金
1限		塗装法演習	写真(映像)演習	尾道学入門	
2限		塗装法演習	写真(映像)演習		瀬戸内文化論
3限	民俗学Ⅰ				
4限			実習		
5限					

美術学科は火水木金の午後が実習の時間になっています。



● サークル活動ではひかりアート研究部に所属しています。尾道のイベントの一つであり、ぼんぼりの灯りを楽しむことのできる「尾道灯りまつり」に携わることができます。祭りの準備から当日の運営まで大変ですが、地域の方々との交流やぼんぼりの暖かな灯りに癒されます。

● 休日は友人と共に尾道商店街や展覧会を周ったり、自宅で趣味を楽しんだりすることが多いです。また尾道駅前では定期的にフリーマーケットなどのイベント事が行われるので、年間通して様々な尾道の街の様子を楽しむことができます。

※3年次(2023年度)前期の時間割です。



オヤマノカフェ(学生食堂)

オヤマノ定食(大) 唐揚げランチBOX
唐揚げカレー ロコモコ丼

ニューヤマザキデイリーストア



ウエダ画房

尾道市立大学にはさまざまなクラブ、サークルや同好会があり、文化系からスポーツ系まで幅広いジャンルが存在します。



クラブ・サークル、同好会一覧表

●部活動

アウトドア部
硬式テニス部
硬式野球部
サイクリング部
サッカー部

セパタクロール部
ソフトテニス部
卓球部
ダンス部
軟式野球部

バスケットボール部 (女子)
バスケットボール部 (男子)
バレーボール部 (女子)
バレーボール部 (男子)
バドミントン部

ハンドボール部
女子フットサル部
陸上競技部

●文化系

学友会執行委員会
翠郷祭実行委員会

アカペラ部
裏千家茶道部

映画研究部
演劇部

軽音楽部
ゴミ部



写真部
吹奏楽部

推理小説研究部
陶芸部

ひかりアート研究部
美術史研究会

文芸部
ラテン部

●同好会

朝活同好会
おの100同好会
考えるカラス団333同好会
芸術文化研究会

シーズンスポーツ同好会
シグマソサエティ同好会
天体観測同好会
ドローン同好会

ねこ同好会
平成文藝談話会
ボクシング同好会

漫画研究同好会
モルック同好会
eスポーツ同好会